

生活支援・予防部会の役割について

丸亀市地域包括支援センター

平成28年6月30日(木)

第1回生活支援・予防部会

●これからの介護予防の考え方

- ① 高齢者の介護予防が求められているが、社会参加・社会的役割を持つことが生きがいや介護予防につながる。
- ② 高齢者を生活支援のサービスの担い手としてとらえ、支援の必要な高齢者の多様なニーズに応えるとともに、担い手にとっても地域の中で新たな社会的役割をもつことにより、結果として介護予防につながるという相乗効果をもたらす。
- ③ 住民自身が運営する体操や、閉じこもり予防などの活動や通いの場を地域に増やす。
- ④ 一人ひとりが地域とつながり、人とのつながりを通じて参加者や、このような通いの場が継続し、地域に広がるような地域づくりを推進する。

介護予防・生活支援の充実①

「介護予防・日常生活支援総合事業」(新しい総合事業)への移行

市町村が中心となって地域の実情に応じて住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することにより、地域の支え合いの体制作りを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを目指すもの。

予防給付の見直し
訪問介護・通所介護



平成29年4月から
地域支援事業へ

介護予防・生活支援の充実②

「介護予防・生活支援サービス」におけるその他の生活支援サービスについて

高齢者のニーズの把握



- ・サービスの担い手作り・支援
- ・シルバー・NPO・ボランティア等の多様なサービス主体による多様な生活支援サービスの確保

高齢者を支えるサービスの構築

介護予防・生活支援の充実③

生きがいづくりと社会参加の推進

高齢者の「居場所」と「出番」づくり

生きがいづくり

老人クラブ・就労支援などの社会参加の促進

サービス提供を図る担い手側へ

介護予防・生活支援の充実④

○健康づくりについて

- 健康推進部門、地域活動部門部署と連携した高齢者の健康づくりの展開
- 高齢者が要介護状態にならないための予防を重視した取り組み
- 地域ぐるみの自主的な健康づくりの促進
- ボランティア活動等社会参加を意識した介護予防の取り組み

介護予防・生活支援の充実⑤

○地域づくりについて

- 高齢者を支える地域の体制づくり
- 認知症の人やその家族を支える地域づくり活動の推進
- 多様な主体が地域課題を共有できる仕組みづくり
- 生きがいづくりと社会参加の推進
- 団塊の世代が地域社会に参画するきっかけ作りとなる取り組みの推進

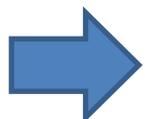
介護予防・生活支援の充実⑥

生活支援体制整備事業

○事業の目的

高齢者の日常生活を支えるために必要となる、多様な主体による生活支援サービスの提供など、支援体制の充実・強化を行う。

又、高齢者の価値観やニーズに応じた社会参加を図れるように支援する。



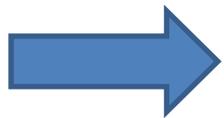
丸亀社協と協働で体制整備予定。

※公益財団法人さわやか福祉財団新地域支援事業担当リーダー森孝則氏より、全国的な動向について説明。

生活支援・予防部会の役割

これからの検討について

○高齢者が生きがいや役割を持って安心して生活できる丸亀市らしい高齢者を支える実現可能な人・もの・仕組み・地域づくりを考えて行きます。



- ①今、丸亀市内で取り組まれている事業の評価。
- ②丸亀市に足りないもの必要なものは何か。